

幡多地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H 2 6 . 2 . 1 2

幡 多 地 域 本 部

1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

アクションプラン 42 案件は、昨年度まで、積極的に補助金の導入やアドバイザー制度を活用し、農林水産物の加工分野の新商品の開発や販路の拡大等、事業者の地産外商に向けた意識が一層高まり、本年度も産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して事業規模の拡大や拠点施設の整備に着手する案件があるなど、概ね順調に進捗している。

農業分野では、三原村のユズの産地化の取組が5年目を迎え、栽培面積の拡大が進むとともに、新たに新規就農者のための研修施設を整備し、農業後継者の育成やU・Iターンの受入にも取り組むこととしている。また、宿毛市では、洋ラン製品の集積化による販売促進に取り組んでいる。

林業分野では、森の工場が幡多管内で30地区認定され、作業員の継続的な就労と事業体の経営安定並びに作業道整備による生産性の向上が図られている。

水産業分野では、昨年度整備した大月町の養殖種苗施設において、シマアジの出荷が始まっており、加工分野においても、宿毛市の民間事業者による加工施設の拡張整備が予定されるなど、製造の拡大及び販売促進に取り組んでいる。

商工業分野では、幡多地域の東の玄関口となる黒潮町佐賀地域に、地域製品の販売や交流人口の拡大に取り組む新たな拠点施設の道の駅整備に着工したほか、10月には販路拡大のため、名古屋地区での展示商談会に2社が出展した。

観光分野では、地域が一体となって半年間開催されてきた「楽しまん！はた博」が終了した。開催をきっかけに、地域の連携の強化や観光意識の向上が図られており、今後も新規イベントや体験プログラムのブラッシュアップなどを行いながら、継続可能な体制づくりに取り組むこととしている。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品目づくり</p> <p>■No.1 水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・ J A 高知はた</p>	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 販売額 1,500 万円以上の農業経営体 10 経営体 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 3 経営体 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大規模志向農家ネットワーク(8名→11名)構築、有望品目の検討・ ブロccoli-大規模経営、栽培の研修会(6/14、10/18)・ 大規模経営、有望品目の研修会(7/11、9/6、10/10・28、11/6)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭遊 六志会 ・石田蘭園 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活かした大規模農家の育成 ⇒品目別経営モデル、農家作業管理システムの周知 ・農地集積と雇用確保が課題(仕組みづくり) <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 128,300 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 108,600 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25.5.27～6.1に蘭遊六志会が中国で販路開拓 ・産振補助金の採択通知(H25.8.20) ⇒集出荷施設(1式)と販売促進事業(1式) ⇒集出荷施設(入札10/28、工期11/1～1/25) ・蘭遊六志会(6名) ⇒IFEX(10/9～11)に出展 ⇒@豊明花き(愛知県11/11)に出展(契約1,000万円) ⇒11月15日「めざましテレビ」スタジオを蘭遊六志会の花で演出 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒HP及びネットショップの立ち上げ
<p>■No.4 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(財)三原村農業公社 ・三原村 ・JA高知はた 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ栽培面積50ha、果実生産量400t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ栽培面積37ha、果実生産量120t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業5名、緊急雇用事業11名(JA8名+公社3名)、起業支援型3名雇用 (公社職員H24:11名→H25:15名) ・栽培面積が36haに拡大(内、公社16.6ha)、H25生産量114t ・ユズの青果出荷率向上対策(共同選果施設の導入検討) ・第2期ユズ産地化計画の策定(H24:36ha→H27:50ha) ・研修施設整備で後継者育成 ⇒農業大学、農業振興センターと連携開始 ・農業公社が販路を開拓→JAに共同出荷(連携)を打診 ⇒三原村全域の販売許可を受ける ⇒ユズ加工(新商品「ユズゆべし」の試作開始)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・J A高知はた <p>■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ産地拡大と後継者育成 ⇒青果率向上(現状：10%→目標：農業公社出荷 40%) ・獣害(シカ、ウサギ等)の被害対策(防護柵等)の必要性 ・共同選果機、搾汁・加工施設の導入(H26～27 整備予定) <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花き栽培面積 15ha ・野菜栽培面積 6ha <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花き栽培面積 18ha ・野菜栽培面積 3ha <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある園芸産地活性化事業による、点滴灌水実証圃 2 戸(カスミソウ・ニラ)の継続実施 ・用水対策現地調査(5月～6月 各1回) ・特に水不足の状況にある3地区の対策について「大方南部地域用水対策地区別検討会(J A、町、農業振興センター)」で協議し、新たな水源対策(案)を作成して花卉部会のメンバーに提案・協議予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>南部地域は慢性的な水不足であり、水源地(用水量)の調査及び確保</p> <p>⇒地権者協議(水源対策等)、地元負担協議</p> <p>点滴灌水実証圃の検証、点滴栽培に向けたマニュアルの作成</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 100t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 70t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・取引企業者数約 100 社(商談中含む) ・新商品(直七カクテル：田野町濱川商店)の試飲会 7/7：てんこす、宿毛市椰子、7/5～7：まるごと高知 ・直七収穫ツアー(10/13～14)と「宿毛花火見学(10/13)」 ・H25の収量は101.5tで、H27目標を達成し、搾汁も39.7t(H24対比157%)に増加 ・直七真鯛の開発(すくも湾漁業協同組合と連携)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施 <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 8t ・原材料(生栗)の仕入量 12t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t ・原材料(生栗)の仕入量 10t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品新サービス開発支援事業(全国商工会連合会)を導入し、アドバイザーの招聘、新商品(パウダー)の完成 ・生栗仕入:約7t ・県内企業を主体とした営業活動により、製品ベースで4tを受注(40社) ・起業支援型地域雇用創造事業により1名を雇用(12/1~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の確保 ⇒集荷の継続実施 出荷まで至っていない栗の発掘(新規開拓、栽培管理、収穫支援等) ・新商品の販路開拓
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No. 8 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の認定を受けた事業体 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量 20,000 m³ <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量 20,000 m³ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場を新たに4工場設立(計30工場) ・木材生産量:A・B材 3,296 m³、C材 1,247.6 t <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材価格の低下(特に檜材) ⇒作業効率の向上(作業道路整備、高性能機械の導入)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十市 <p>■No. 11 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大月町備長炭生産組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「四万十の家」着工戸数 30 戸 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「四万十の家」着工戸数 25 戸 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十市産材利用促進事業の継続実施（受付件数 33 件） ・ 四万十ヒノキブランド化協議会総会（7/23） ・ イベント出展（11/2 もくもくランド、11/10 幡多もりフェス） ・ 長伐期研修会の開催（10/15） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化</p> <p>⇒四万十ヒノキブランド化協議会での検討及び各種イベントへの参加</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備長炭販売量 240t、生産窯 20 基、生産者 20 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備長炭販売量 107t、生産窯 9 基、生産者 9 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産振補助金により、新たに製炭窯（4 基）が H25. 2 月に完成（計 7 基）、製炭者 8 名で稼働中。 ・ ふるさと雇用事業で 1 名、緊急雇用事業で 1 名を雇用 ・ 下級品の販路拡大（枕メーカーに納入） ・ 製炭窯の稼働率及び生産性の向上と原木確保 ⇒6 月下旬から組合員 8 人で全窯（7 基）の稼働開始 H24 売上額=4,450 千円→H25(4-10)=13,121 千円 ⇒原木山と伐採人役を確保（生産量の向上） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織体制の強化 ⇒大月町備長炭生産組合を法人化
<p>安定した漁業生産を目指す取組</p> <p>■No. 15 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) 沖の島水産 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 11,700 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 50,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「目指せ弥太郎商人塾：臼井クラス」で H25 受講中

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町 ・(株)山崎技研 	<ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金の採択通知(H25.7.1) <ul style="list-style-type: none"> ⇒水産加工施設整備(1式):年度内に稼働予定 ⇒販路開拓、販売促進事業(1式) ⇒ホームページの開設 ・催事売り上げの継続 <ul style="list-style-type: none"> ⇒福岡県～愛知県で催事販売(7～10月:7,260千円) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「目指せ弥太郎商人塾:白井クラス」でH25受講中 <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダイ100万尾、シマアジ50万尾 <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダイ40万尾、シマアジ30万尾 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出11名(正規4名、パート7名:H25.10月時点) ・産振補助金により、マダイ、シマアジ等の海上育苗施設を整備 ・シマアジ特大サイズ13.1万匹出荷(H25.8月末) ・H24にイサキ30万匹、H25には40万匹をすくも湾へ放流、H24にノコギリガザミ4,200匹、H25には9.7万匹を浦戸湾等へ放流。 ・H25.11末、カンパチ幼魚1,184匹(約1.3kg)を継続飼育中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗の安定生産とカンパチの種苗技術確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県の水産試験場と連携して技術確立を目指す
<p>■No. 34 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町商工会 ・黒潮町 ・高知県漁協 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口16,000人 <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口18,000人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮一番館の休館日(火曜日)の活用策として、漁協女性部による「びりびり市」の開催(11月末時点30回、延べ600人来場) ・「まるごと高知」で、カツオのタタキ(真空パック)、タタキのたれをテストマーケティング ・黒潮一番館の入込客数(11月末):11,258人(前年同期10,167人)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐さがのもどりガツオ祭の開催：8,000人（はた博） ・道の駅「なぶら土佐佐賀」への食材提供について関係者協議（11/25、12/4） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p> <p>新たに整備する道の駅との連携 ⇒道の駅ワーキング委員会において具体策の協議</p>
<p>地域産物を活用した6次産業の振興</p> <p>■No.12 地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 <p>■No.13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) ピアースァーティー 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 30t、冷凍キビナゴ 15t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 19.0t、冷凍キビナゴ 10t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で4名を雇用（加工3名、輸送1名） ・H25.12月末現在の取引先46社（東京の学校給食含む） ・高知県内外の病院、学校給食用に継続して営業を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収益性の向上 ⇒主力商品であるキビナゴバラ凍結の安定的な生産と作業効率の向上 ⇒経営改善を図る</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.7億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.0億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚加工商品（冷凍フィレ等）を「五穀」系列チェーン店に出荷 ・今年から沖の島水産と連携した天然ブリ祭りが大好評で、H26は1ヶ月早い10月から商品作りを開始 ・春の鯛フェアで宿毛市をPR（系列店舗：3/7～5/15） ・タイ、イサキ等の粕漬けのセットをネット販売 ・売上は前年度と同等で推移。（H25.6～11：0.9億円） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の確保（H25.11月末：23名） ⇒ハローワークで常時募集

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.19 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.03 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出(H25.6:11名)と雇用募集中(3名) ・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調 ・提携先店舗に加えて、新たなチェーン店(とり鉄等)にも取引開始 ・原魚供給高(4~11月):12,900千円(対前年度95%) ・工場はフル稼働の状況 ・高知県食品高度衛生管理手法認定申請(1商品) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚の安定確保 ⇒安価な時期に購入して冷凍保存(すくも湾漁協の新冷凍施設を活用)
<p>■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 100t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 70t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・取引企業者数約100社(商談中含む) ・新商品(直七カクテル:田野町濱川商店)の試飲会 7/7:てんこす、宿毛市椰子、7/5~7:まるごと高知 ・直七収穫ツアー(10/13~14)と「宿毛花火見学(10/13)」 ・H25の収量は101.5tで、H27目標を達成し、搾汁も39.7t(H24対比157%)に増加 ・直七真鯛の開発(すくも湾漁業協同組合と連携) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.22 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) 与力 ・幡多美味工房 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 8 アイテム <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 10 アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食材を使用した新商品開発と雇用の創出(起業支援型で1名雇用→計2名) ・オリジナルの商品(野菜ジャム: なす、かぼちゃ、トマト、キビナゴの燻製、ケンボロー豚の肉マン、ケンボロー豚串)を自社販売ルートで販売中 ・OEM生産(ゆずの塩だれ: J A高知はた) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売促進 ⇒県内外の量販店で催事参加(4/6~12/22: 15回)
<p>■No.24 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) 土佐清水元気プロジェクト ・土佐清水市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む) 70人 ・地元農産物等の活用 100t ・売上額 2.5 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む) 56人 ・地元農産物等の活用 120t ・売上額 1.8 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外等の催事での販促PR活動(東京2回、大阪2回、県内25回) ・商談会等(県内外)への参加 6回 ・産業振興センターの経営革新計画支援事業の活用によるOEM生産の継続→9社、9アイテムが完成、2社8アイテムを開発中 ・日本経済新聞 NIKKEI プラス1(6/22付)「何でもランキング」(取り寄せ魚介丼)で「土佐の清水さば漁師漬け」が全国1位を獲得(11月末現在 約36,000パック(7,200セット)を受注) ・新商品の開発・販売(ドレッシングシリーズ5品) ・いいものおいしいもの発見コンクールで「土佐の清水さば漁師漬け」が食品部門の大賞受賞 ・売上額(11月末): 91,000千円(昨年同期 70,000千円)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十市 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>売れ筋商品の販路拡大 ⇒競合する商品が多い中での販路拡大を行っていくための戦略づくり</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品の開発 15 アイテム <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品の開発 13 アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントでの販促活動 (13 回) ・ 新商品(ゆずの塩だれ)の販売(京北スーパーでのモニター販売(9月~10月)によりラベルデザインを修正) ・ 新規プロジェクト(四万十ギョーザ)の推進(餃子製造機械の導入) ・ ぶしゅかんどリンク、ポン酢のテレビCM放送(7月~9月) ・ ぶしゅかん使用塩ラーメンが全国コンビニ販売(12/9~) ・ 商談会への出展(東京1回) ・ 市農商工連携プロジェクト事業報告会(7/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大 ⇒新商品の開発、各種イベント等でのPR</p>
<p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)(再掲)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)しまんと美野里 ・ 四万十川を良くする会 ・ 四万十市 ・ 西土佐商工会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栗加工品製造量 8t ・ 原材料(生栗)の仕入量 12t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栗加工品製造量 6t ・ 原材料(生栗)の仕入量 10t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品新サービス開発支援事業(全国商工会連合会)を導入し、アドバイザーの招聘、新商品(パウダー)の完成 ・ 生栗仕入:約7t ・ 県内企業を主体とした営業活動により、製品ベースで4tを受注(40社) ・ 起業支援型地域雇用創造事業により1名を雇用(12/1~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料の確保 ⇒集荷の継続実施 出荷まで至っていない栗の発掘(新規開拓、栽培管理、

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 黒潮印の商品開発（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒潮町 ・ 黒潮町特産品開発推進協議会 	<p>収穫支援等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品の販路開拓 <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産協売上 3,000 万円 ・ サトウキビ栽培面積 350a ・ 体験者数 500 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産協売上 1,600 万円 ・ サトウキビ栽培面積 360a ・ 体験者数 50 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町単産業推進補助事業交付決定：4 件 ・ サトウキビ栽培面積 354 a（昨年並み） ・ 精糖作業の開始（11/15～12 月末） ・ らっきょうの黒糖漬けがモンドセレクション銀賞受賞 ・ 新産業創造事業開発メンバーによる缶詰、スイーツ等の試作品を約 40 種類製造 ・ ラボ（商品の開発研究から製造までの機能を有する施設）建設工事発注（工期：12/2～3/24） ・ 百貨店のギフト商品に黒糖商品が採用され 30 セットを受注 ・ 売上額（11 月末）：8,779 千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品開発推進協議会の売上増 ⇒新商品の開発によるアイテムの充実 学校給食への供給（漬物、らっきょう等）を検討</p>
<p>■No. 36 水産物加工施設整備事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (有) 土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規雇用 5 名 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規雇用 3 名 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外百貨店等の催事出展（12 回） ・ 裕毛屋（台湾）の黒潮町フェア、高知県フェアに出展 ・ 「きびなごペースト」が「むらおこし特産品コンテスト」で審査員特別賞を受賞 ・ 新商品の開発（「きびなごペースト」を使用したバジル風味ソース） ・ かたくちいわしの魚醤の仕込み（4 月）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興アドバイザー招聘：ビジネスプランの作成に向けた関係者による協議（10/9） 商工会事業によるアドバイザーを招聘し整備予定の加工施設の衛生管理面に関する協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工施設の規模拡大 ⇒加工施設の新設について、産振補助金の活用を検討
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No. 23 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐食（株） 土佐清水市 <p>■No. 29 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十市 西土佐商工会 地域事業者等 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用者（臨時・パートを含む）200人 地元水産物の活用 2,800t 売上額 15億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用者（臨時・パートを含む）200人 地元水産物の活用 3,300t 売上額 17億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県外展示会等への参加（東京1回、大阪3回、広島他3回） 原魚取扱量 2,300t（11月末） 新商品（食品）の開発、販売（3アイテム） 10月末売上額：9.51億円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>原魚の確保 ⇒漁協、加工組合、加工業者、行政が一体となった対策の検討</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品数 14商品 雇用者数 正規2人＋α <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品数 15商品 雇用者数 正規2人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと雇用事業で2名の雇用継続（既存直販市） 道の駅基本計画・基本設計書策定 道の駅整備検討会の開催 地域内各事業者による商品開発2アイテム

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)大月町ふるさと振興公社 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅詳細設計の発注(9/30) ・41℃プロジェクトの始動(商工会事業が10/2採択となり、先進地(熊谷市、多治見市)視察・意見交換を実施。「あついまちサミット」(仮称)をH26.2月開催) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>運営体制の構築 ⇒道の駅整備検討会、幹事会で検討</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.5 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.0 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出(移住関連1名、情報発信1名の計2名) ・H25.4.1から一般財団法人の認可 ・道の駅の販売金額は、H25.11末まで102.1%、カワガ販売101.4%、入客数101.3%と善戦(対前年同期比) ・情報発信の撮影・編集をシステム化(小人数での対応化) ・道の駅レストラン定休日(火)にふれあい市場内で食の提供開始 ⇒目標1日50食に対して6回開催平均で1日45食と採算ライン達成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の改善 ⇒地域産業振興アドバイザーの指導を受け、経営の改善を図る ・情報発信の強化と販路開拓
<p>■No. 35 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者数 正規1名、パート7名 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者数 パート10名 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅整備事業の産振補助金交付決定(5/10) ・道の駅整備工事発注(工期末を1/31から2/28に延長) ・道の駅の名称決定(「なぶら土佐佐賀」) ・道の駅ワーキング委員会を開催し、直販部門の仕組みの確立や黒潮一番館との連携等について協議 ・道の駅を運営する新法人((株)なぶら土佐佐賀)を設立(10/11):出資団体 8団体、出資額 700万円

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会事業によるアドバイザーを招聘し直販部門(なぶら市場)の出荷要領、運営体制等を検討 ・起業支援型地域雇用創造事業申請(正規1名、フルタイム5名、パート9名) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>道の駅の運営体制の構築、黒潮一番館との連携 ⇒ワーキング委員会において検討(アドバイザーの活用)</p>
<p>滞在型・体験型観光の推進</p> <p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数 4,000 人 ・一般旅行受入数 30,000 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数 1,000 人 ・一般旅行受入数 5,000 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(12校 972人) ・藤沢アドバイザーによる防災プログラム作成研修、民泊拡大検討会等(8/21~23 黒潮町他、11/27~29 宿毛市他) ・「かげろう映画祭り」(8/24~25 四万十市)開催 ・「楽しまんと!はた博」がスタート(7/1~12/31) <ul style="list-style-type: none"> ①オフィシャルイベント(19イベント) ②はたの夏休み(11プログラム) ③各種体験プログラムの実行等(54プログラム) ④宝探しゲーム、グルメクーポンの実施 ⑤中四国、関西、関東へのPRキャラバン(12回) ⑥観光施設等入込客数(7月~12月) 1,465,371人(対前年比116%) ・モニターツアー実施 27名(はた博1回、教育旅行1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入観光客の増 ⇒「はた博」で造成したイベントメニュー、体験メニュー(54プログラム)のブラッシュアップ さらなる市町村の連携体制の強化 教育旅行の販促活動の強化 ・ポストはた博の検討

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 竜串観光再発見事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串地区 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 12.5 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 11 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 竜串観光振興会による海のギャラリーの管理運営(継続した取組) ・ふるさと雇用事業で1名の雇用継続 ・トイレ(3ヶ所)の改修(8/13完成)(県補助金活用) ・竜串の観光資源(はた博体験プログラム)を出会いのきっかけづくり応援事業に活用(カップル2組成立) ・環境省、水産庁事業を活用してサンゴの保全活動(オニヒトデ駆除)実施(6回) ・入込客数(11月末) 75,127人(前年同期71,274人) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域資源を活かした具体的な戦略展開 ⇒地区全体の将来ビジョン創造、受入体制の充実</p>
<p>■No. 39 土佐清水まるごと戦略観光展開事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社)土佐清水市観光協会 ・地域活動団体 ・土佐清水市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者数・入込客数 82 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者数・入込客数 80 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で2名の雇用継続 ・「ジョン万海の元気まつり」の開催(GWイベント:5/3~5 3,500人、海の日イベント:7/21 600人) ・香港国際旅遊展に「四国の秘境」として出展し、現地旅行業者や一般来場者にPR(6/13~6/16) ・ジョン万次郎資料館の名誉館長に「ビビる大木」さんが就任(4/1) ・あしずりまつり開催(8/2 清水のお客 1,600人、8/3 花火大会 45,000人)(はた博) ・はたフェス in 土佐清水(9/21~22) 15,000人(はた博) ・連泊客誘客促進事業実施(連泊宿泊客に対し、大人3,000円、子供1,500円相当の体験メニュー券を進呈…利用枚数990枚) ・個人型観光客誘致対策事業実施(宿泊客に対し、1人1千円分の地域通貨万次郎券を進呈…12/11 現在利用枚数6,737枚) ・団体客誘致促進事業実施(1人当たり500円を市が補助)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 40 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市観光振興連絡会議 ・奥四万十楽しまんとプロジェクトチーム ・四万十市 <p>■No. 42 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO砂浜美術館 ・黒潮町 	<ul style="list-style-type: none"> ・はた博ステップアップイベント「はたきらり」開催（足摺きらり、竜串クリスマスイベント、天神バックストリート） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成 ⇒「はた博」で造成した体験メニュー等のブラッシュアップ</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光商品（体験メニュー）開発数 100 体験 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光商品（体験メニュー）開発数 83 体験 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十花絵巻の開催（菜の花、つつじ、桜、花菖蒲、紫陽花、睡蓮、紅葉） ・ドラマ効果の活用策として「四万十川恋のぼり」、「四万十絵馬」を実施（4/1～） ・各種サイクルイベントの開催 ・サイクルトレインの運行開始 <ul style="list-style-type: none"> 中村～窪川：9月～12月 7回 江川崎～窪川（にゃんよ号延伸）：9月～10月 2回 ・四万十ドラゴンライド（11/3～4）開催 ・なしし港祭り開催（9/29 1,500人 前年比較500人増） ・R381沿線市町村及び道の駅関係者によるサイクリングをテーマとした県境連携に関する協議（10/2、12/19） ・11月を一條大祭無礼講月間として、はた博イベントを集中開催（お座敷大交流会、マルシェ&はしご酒、うまいもの商店街、四万十おきゃく映画祭他） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発・ブラッシュアップ ⇒テレビドラマのロケ地を活かした観光客の誘致 愛媛県と連携したサイクルイベント等県境連携の強化</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 60 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 69 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツアート展開催（5/3～5/8 16,614人）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂浜美術館モニターツアー 雑誌編集者向け (6/19～20 5人) ・ 民泊受入衛生講習会 (5/21 10人) ・ スポーツ合宿、大会の招致 (6団体 872人) ・ スポーツ合宿誘致活動 (18団体) ・ 星降る砂浜美術館 砂と光のアート展開催 (7/7 砂像づくり参加者：260人、来場者：4,500人) (はた博) ・ 潮風のキルト展開催 (11/22～24 1,965人) ・ 黒潮町まるごと産業祭開催 (12/1 4,000人) ・ 黒潮町観光ネットワーク全体会議開催 (11/6) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>宿泊観光客の増 ⇒スポーツ大会、合宿の誘致活動の強化</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

2 平成25年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 15 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)	・宿毛湾近海で獲れるブリ・カツオ・キビナゴを活用し、消費者ニーズに基づく商品開発と販売促進 (水産加工施設1式の整備等)	60,262 (30,019)
■No. 35 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進(黒潮町)	・道の駅(「なぶら土佐佐賀」)の施設整備	168,531 (50,000)
■No. 17 宗田節の販路拡大に向けた取組(土佐清水市)	・宗田節商品の製造における作業効率と生産能力の向上を図るため、「充填機」、「賞味期限等の印字機」、「金属検出器」を導入	11,676 (7,728)
■No. 2 洋ランのブランド確立・流通促進事業(宿毛市)	・宿毛市並びに県内の洋ラン農家が新たな組織を立ち上げ、各生産者が生産した洋ラン商品を一元的に集荷・パッケージ化し、既存流通市場の他に直接小売店や消費者にも販売	24,114 (11,482)

3 県民参画に向けた取組

- ・ 幡多地域のパネル展示 (4/19～5/2：県庁1階)
- ・ 北郷集落活動センターへの支援 (4/20 開所式：旧北郷小学校)
- ・ 中村商工会議所青年部総会で産業振興計画、地域AP概要説明 (4/23)

- ・ 幡多信用金庫との包括協定連絡会 (4/24)
- ・ 橋上地区集落活動センター説明会 (4/24：神有多目的集会所)
- ・ 三原村集落活動センター推進協議会設立 (5/14：構造改善センター)
- ・ 高知県技術・市場交流プラザで産業振興計画の概要説明 (幡多地区：5/22)
- ・ 西土佐商工会総会で産業振興計画、地域A Pの概要説明 (5/24)
- ・ 高知県産業振興計画シンポジウム (5/24：いの町すこやかセンター)
- ・ 大宮集落活動センターへの支援 (5/26 開所式：株式会社大宮産業・旧大宮小学校)
- ・ 四万十市との産業振興計画勉強会 (5/31：四万十市役所)
- ・ 高知県産業振興計画シンポジウム (6/7：津野町酒蔵ホール「葉山の蔵」)
- ・ 楽しまんと！はた博 (7/1～12/31)
 - 6/29～30 のイベントを始め、幡多6市町村で各種イベントを開催
- ・ 結プロジェクト
 - ①10月 1日～2日 (宿毛市)：夏祭りの開催を幡多信用金庫が支援
 - ②10月12日～13日 (四万十市)：银杏祭りの開催を高知大学が支援
- ・ 対話と実行座談会 (12/18 「魅力ある地域づくりについて」)

4 相談案件：8件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/17	医療	幡多地域の病院施設に食材を供給するシステムに関する相談。
2	5/23	起業事案	外国人用パンフ作成事業の起業化相談。
3	5/24	加工技術	食材加工技術 (燻製) に関する相談。
4	6/4	農業堆肥	雇用創出目的の農業用堆肥製造に関する相談。
5	6/5	水産	直七真鯛PR促進が可能な事業の相談。
6	6/17	NHKドラマ	NHK 高知放送局スポンシルドラマ「はちきん母ちゃん」に関する相談。
7	7/25	水産加工	宗田節加工商品の販売促進に関する相談
8	11/6	農業加工	三原村のユズ自動選果機械、搾汁、加工施設整備に関する相談